

**令和5年度瀬戸内さかなのブランド化推進業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和5年8月1日（火）14時から15時半まで

広島県庁本館4階広島県海区漁業調整委員会室 ※提案者はZoomにより出席

- ・農林水産局水産課長
- ・総務局施策形成支援チーム政策監（代理人）
- ・農林水産局農林水産ブランド戦略部長
- ・商工労働局観光課観光魅力創造担当監
- ・農林水産局販売・連携推進課長

令和5年度瀬戸内さかなのブランド化推進業務の企画提案内容の審査

農林水産局水産課

参集（オンライン併用）

1 審査方法
提案された企画提案書をもとにプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。

2 審査結果

(1) 審査対象者（提案書提出順）

- ①株式会社中国新聞社
- ②株式会社 PMA

(2) 審査対象者の評価値
審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。

(3) 最優秀提案者
最優秀提案者：株式会社中国新聞社

(4) 各選定委員の主な評価

【A社】

- ・概ね県のブランド戦略に沿った提案となっている。
- ・実行力ある体制は評価できるが、ステークホルダーに共感を得るための考えやプレゼンの仕方に不安を感じるため、採択後は十分に協議し、戦略に沿うよう事業内容を訂正のうえ、事業を進めていくこと。
- ・実行力ある体制を評価できる。

		<ul style="list-style-type: none">・提案内容をさらに効果的なものにするため、工夫を講じる必要があるが、総合的には評価できる。・目標設定が十分ではないように感じた。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none">・他県事例を参考に提案内容が組み立てられており、本県の取組の参考になる点がある。・事業の円滑な実施に向け、体制の強化等が求められると思料した。・バリューチェーンの連携の仕組みや課題抽出・整理の方法の説明が不明瞭に感じた。・協議会発足時期は遅すぎるのではないか。・取組み内容は良いものと思うが、県の方針や考えに完全に一致していないように感じた。
--	--	--